

平成30年度事業報告

(総括概要)

景気の回復基調を維持してきた我が国経済は、平成30年度後半以降、その成長率に陰りが見え始めました。特に昨年は、全国各地で自然災害が発生し、輸出や個人消費の伸びが抑えられるなど、その影響が少なからず表れたのも、その要因の一つと考えられます。加えて最大の要因として挙げられるのは、終盤における米中貿易摩擦激化による海外経済の減速によるものと思われます。今後においても、この影響が本格化し、海外経済が総じて減速するとの見方であり、先行き不透明な状況となっています。

深刻な人手不足や人件費の高騰、原材料費の高止まり等、多くの課題を抱えている中小・小規模事業者においては、先行きの懸念が強まることとなり、足元の景況に対し、慎重な見方を崩すことが出来ないものと考えます。

こうした経済状況のもと、商工会議所の使命として、当所では会員事業所の発展と地域活性化の推進に向け、多面的な事業展開に努めているところであります。

平成30年度における主な取組みとして、喫緊の課題である雇用対策では、各種会社説明会等への出展をはじめ、個別相談会の開催、学校訪問、HPによる求人情報の充実等を図って参りました。会員事業所に対する経営支援においては、巡回訪問や景況調査等による現状把握に努めながら、ミラサポ等を活用した専門家派遣による個別指導の強化をはじめ、各種融資・助成制度の活用支援、IT活用による集客や販路拡大の促進、生産性を高めるセミナー・講座等の開催、各種ビジネスフェア等への出展など、各種事業を実施したところであります。

小規模事業者等に対する支援では、金融・税務・記帳・労働等に関する個別指導の強化や相談体制の充実を図りながら、伴走型による経営改善普及事業の推進に努めました。

また、消費税率改正に伴う軽減税率導入やキャッシュレス化促進については、各事業者が円滑に対応できるよう、セミナーや説明会の開催、個別相談等を実施したところであります。

地域活性化に向けた「商工業等活性化プロジェクト」の推進では、各種アウトドアイベントへの支援や美濃アプリを活用したイベント、まちゼミ、健康経営に資する健康セミナー等を実施のほか、子供達の起業体験の場とする「ジュニアエコノミーカレッジ」の継続実施など、事業の定着化を図りました。

そのほかでは、目の字地区を中心とする市街地活性化に向け、その基本方針を取り纏めたところであり、引き続き、次年度において、ビジョン策定に向け検討して参ります。

人口減少が進み、地方の疲弊が危惧される中、今後においても、行政や関係機関等とも連携強化を図りながら、地域経済の発展と地域活性化のため最大限努力して参ります。

平成30年度収支決算総括表

自：平成30年4月1日

至：平成31年3月31日

(単位：円)

会計種別	繰越金	収入	支出	収支残高	繰入金 繰出金		差引残高	備考
					繰入金	繰出金		
1 一般会計	4,485,767	31,986,185	34,678,709	1,793,243	5,092,640	2,876,892	4,008,991	繰入金は 中小企業相談所・ 共済事業及び会館運営 特別会計より 繰出金は中小企業相談 所・退職給与積立金へ
2 中小企業相談所 特別会計	68,546	32,122,335	27,033,445	5,157,436	2,100,000	7,139,888	117,548	繰入金は一般会計より 繰出金は一般会計・ 退職給与積立金へ
3 共済事業及会館 運営特別会計	7,636,927	21,835,568	14,230,597	15,241,898	0	5,925,364	9,316,534	繰出金は一般会計・ 退職給与積立金へ
4 会館トイレ改修 事業特別会計	0	0	9,725,000	△ 9,725,000	9,725,000	0	0	財政調整積立金・共済 事業及び会館運営特別 会計より繰入
5 退職給与積立金 特別会計	38,672,563	0	14,006,384	24,666,179	3,024,504	0	27,690,683	繰入金は一般会計・ 中小企業相談所・ 共済事業及び会館運営 特別会計より
6 財政調整積立 特別会計	16,000,000			16,000,000	5,000,000	9,000,000	12,000,000	繰入金は共済会計より
合計	66,863,803	85,944,088	99,674,135	53,133,756	24,942,144	24,942,144	53,133,756	

繰越金計	収入計	支出計	差引金額	繰入	繰出	合計残高
12,191,240	85,944,088	75,942,751	22,192,577	7,192,640	15,942,144	13,443,073

※一般会計・中小企業
相談所特別会計・共済
事業及会館運営 特別
会計の合計金額

貸借対照表

平成31年3月31日現在
(単位：円)

借	方	貸	方
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	15,513,335	流動負債	2,070,262
現 金	239,055	未払金	1,677,033
当座預金	6,100,016	前受金	260,816
普通預金	7,820,252	預り金	132,413
未収金	930,412		
仮払消費税	423,600		
固定資産	187,127,216	固定負債	33,223,484
(有形固定資産)	142,416,523	長期借入金	5,032,801
建物及び付属設備	101,478,281	預り保証金	500,000
什器備品	1,071,603	退職給与引当金	27,690,683
車 輛	1,258,001		
土 地	38,608,638	【正味財産の部】	
		積立金	12,000,000
		財政調整積立金	12,000,000
(その他固定資産)	44,710,693	剰余金	155,346,805
出資金	4,520,000	固定財産	141,903,732
保証金	500,000	一般会計	
退職給与積立金	27,690,693	収支剰余金	4,008,991
財政調整積立金	12,000,000	中小企業相談所特別会計	
		収支剰余金	117,548
		共済及会館運営特別会計	
		収支剰余金	9,316,534
		正味財産計	167,346,805
合 計	202,640,551	合 計	202,640,551

平成30年度 総括収支計算書

(収入の部)

(支出の部)

(単位：円)

勘定科目		決算額	勘定科目		決算額
会費		16,809,000	事業費		20,048,393
事業収入		24,358,368	トイレ改修事業費		9,725,000
補助金・委託金		44,213,590	人件費		36,608,870
雑収入		563,130	福利厚生費		5,831,493
財政調整積立金繰入		9,000,000	管理費		11,280,658
前年度繰越金		12,191,240	退職積立金		3,024,504
				公租公課	1,073,976
				借入金返済	1,099,361
				財政調整積立金	5,000,000
				次年度繰越金	13,443,073
				計	107,135,328
計		107,135,328	計		107,135,328

次年度繰越金の内訳	決算額
一般会計	4,008,991
中小企業相談所特別会計	117,548
共済事業及会館運営特別会計	9,316,534
計	13,443,073

